

令和7年 第6回 定例教育委員会 会議録

日	時	令和7年6月27日（金） 14時00分～15時35分			
場	所	阪南市防災コミュニティセンター 6階多目的室			
出席者	〈教育委員会〉				
	教 育 長	中 野 泰 宏			
	教育長職務代理者	八 田 三 紀			
	委 員	辻 雅 之			
	委 員	水 島 浩 子			
	委 員	柴 崎 一 也			
	〈事務局職員〉				
	生涯学習部長	松 下 芳 伸			
	こども未来部長	山 中 富士夫			
	生涯学習部理事	中 山 孝 一			
生涯学習部副理事	向 井 説 行				
副理事兼生涯学習推進室長	木 村 浩 之				
教育総務課長	堀 野 純 司				
学校給食センター所長	寺 井 浩 之				
こども政策課長	楠 本 剛 史				
学校教育課長代理	山 本 朋 美				
学校教育課長代理	両 口 通 寛				
事務局	教育総務課長代理	永 井 隆 祐			
書記	教育総務課長代理	永 井 隆 祐			
傍聴者	なし				

会議の要旨

(教育長)

令和7年第6回定例教育委員会を開会する。

本会議は、出席委員が定足数に達しており、有効に成立している。

署名委員に八田委員を指名する。

◆承認事項第1号「令和7年第3回臨時教育委員会会議録について」(こども政策課)

(教育長)

承認事項第1号「令和7年第3回臨時教育委員会会議録について」であるが、本会議録は、教育委員会会議規則第5条第2項の規定に基づき、委員会の承認が必要である。

意見、質問等はないか。

(全委員)

意見、質問等なし。

(教育長)

承認事項第1号について、案のとおり承認されたものとする。

◆承認事項第2号「令和7年第5回定例教育委員会会議録について」(教育総務課)

(教育長)

承認事項第2号「令和7年第5回定例教育委員会会議録について」であるが、本会議録は、教育委員会会議規則第5条第2項の規定に基づき、委員会の承認が必要である。

意見、質問等はないか。

(全委員)

意見、質問等なし。

(教育長)

承認事項第2号について、案のとおり承認されたものとする。

◆議決事項第1号「令和7年度学校協議会委員の委嘱について」(学校教育課)

(教育長)

議決事項第1号「令和7年度学校協議会委員の委嘱について」学校教育課の説明を求める。

(山本学校教育課長代理)

任期満了に伴う措置として、阪南市立小中学校「学校協議会」設置要綱第4条

の規定に基づき、新たに資料記載の43名の方に委員を委嘱したいので、教育委員会の議決を求める。任期は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までである。

詳細は資料のとおりである。

(教育長)

ただいまの説明を受けて、意見、質問等はないか。

(全委員)

意見、質問等なし。

(教育長)

議決事項第1号について、案のとおり議決されたものとする。

◆議決事項第2号「阪南市立文化センター協議会委員の委嘱について」(生涯学習推進室)

(教育長)

議決事項第2号「阪南市立文化センター協議会委員の委嘱について」生涯学習推進室の説明を求める。

(生涯学習推進室長)

任期満了に伴う措置として、阪南市立文化センター条例第5条の規定に基づき、新たに資料記載の7名の方に委員を委嘱したいので、教育委員会の議決を求める。

任期は、令和7年7月1日から令和9年6月30日までである。

詳細は資料のとおりである。

(教育長)

ただいまの説明を受けて、意見、質問等はないか。

(水島委員)

協議会の開催頻度はどれくらいか。

(生涯学習推進室長)

概ね年2回から3回程度の開催である。

(水島委員)

委員の人数が少ないと感じる。公募による市民の方にも多く参加していただきたい。

(生涯学習推進室長)

市民公募委員については、7月下旬から3週間に渡って、市ウェブページにおいて再公募を行う予定である。また、7月下旬に開催を予定している第1回文化センター協議会においても、再公募について説明を行い、各委員からお知り合いの方にお声がけしてもらえないか、依頼する予定である。応募があった場合は、9月の定例教育委員会の議決事項とさせていただく。

(教育長)

他に、意見、質問等はないか。

(全委員)

意見、質問等なし。

(教育長)

議決事項第2号について、案のとおり議決されたものとする。

◆議決事項第3号「阪南市立図書館協議会委員の委嘱について」(生涯学習推進室)

(教育長)

議決事項第3号「阪南市立図書館協議会委員の委嘱について」生涯学習推進室の説明を求める。

(生涯学習推進室長)

任期満了に伴う措置として、阪南市立図書館条例第5条第2項の規定に基づき、新たに資料記載の9名の方に委員を委嘱したいので、教育委員会の議決を求める。

任期は、令和7年7月1日から令和9年6月30日までである。

詳細は資料のとおりである。

なお、市民公募委員については、議決事項第2号と同様に、再募集を行う予定である。

(教育長)

ただいまの説明を受けて、意見、質問等はないか。

(全委員)

意見、質問等なし。

(教育長)

議決事項第3号について、案のとおり議決されたものとする。

◆報告事項第1号「後援名義使用許可について」(教育総務課)

(教育長)

報告事項第1号「後援名義使用許可について」教育総務課の報告を求める。

(教育総務課長)

令和7年5月1日から5月31日までの間に教育委員会が後援し、名義の使用を許可した1件について、報告する。

内容としては、阪南市少年軟式野球協会主催「第32回阪南市長旗争奪大会」である。令和7年6月22日から9月30日までにかけて、阪南市内の各グラウンドにおいて、チーム所属の小学生による少年軟式野球大会が開催される。

この事業は、阪南市教育委員会の後援等に関する規則第2条各号のいずれにも該当するとは認められないことから、名義の使用を許可したものである。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(水島委員)

阪南市長旗争奪大会は、こういったチームが出場できるのか。

(教育長)

出場自体は、地区に関係なく、どこのチームでも出場できる。例年、年度末に泉州8地区の頂点を決める泉州地区王座決定戦が行われるが、この大会は、その出場権を獲得できる大会の一つとなっている。

(柴崎委員)

阪南市のチームは、阪南市長旗争奪大会に出場するのか。

(教育長)

阪南市からは、上荘ドラゴンズ、桃の木台スターズ、ワンワンスポーツクラブ、泉州南少年野球クラブの4チームが出場する。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆報告事項第2号「令和6年度第3回阪南市社会教育委員会議の会議録について」 (生涯学習推進室)

(教育長)

報告事項第2号「令和6年度第3回阪南市社会教育委員会議の会議録について」生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

令和7年3月19日に開催した、令和6年度第3回阪南市社会教育委員会議について報告する。案件は、(1)生涯学習推進に向けた取組について、(2)公民館の指定管理者選定について、(3)令和7年度社会教育関係主要事業説明及び当初予算(案)について、(4)阪南市立文化センター及び阪南市立図書館第三者モニタリングの結果について、(5)その他、であった。

詳細は資料のとおりである。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(教育長職務代理者)

案件4「阪南市立文化センター及び阪南市立図書館第三者モニタリングの結果について」において、文化センターの利用料収入が低迷していることが原因で、収支が赤字になっているという記載があった。先日、市民団体の方が30名規模の会を開催しようと、阪南市内や近隣市町で会場を探した際、サラダホールも候補にあがったが、椅子などの備品一つひとつに申請が必要で、また、食事の斡旋もなく、自分たちで用意して持ち込まないといけないという使い勝手の悪さから、結局、他市町の会場を使ったという話を聞いた。その市民団体の中でも、阪南市内で開催したほうがいいのか、という議論があったようである。サラダ

ホールが、市民の方のちょっとした集まりがしやすい場所になればと感じる。

(生涯学習推進室長)

本市文化センターの備品使用料については、椅子1脚いくらという形で、備品一つひとつに使用料が定められている。近隣市町によっては、施設使用料の中に、備品の使用料が含まれている形をとっているケースもあると聞いている。本市でそのように変更する場合、当然、施設使用料の金額を高く設定する必要が出てくる。使用料を改定する場合には、条例を改正しなければいけないことから、すぐに対応することは難しい。本日いただいたご意見を踏まえ、内部で議論してまいりたい。

また、食事については、現行では、大阪市内のケータリング業者を使って、小ホールで食事するケースが多いと聞いている。この場合も、利用者判断で、事業者を探してきている。公平公正の観点から、指定管理者が事業者を紹介するのは難しいと、指定管理者から聞き及んでいる。

(辻委員)

文化センターについては、市民の方がもう少しスムーズに利用できるよう、利用手続を簡略化するといった方法を、指定管理者にお願いしてもらいたい。また、食事については、現在、文化センター内に飲食できる店がない。小ホールでケータリングできることを指定管理者からも利用者に周知してもらいたい。利用者目線の意見をくみ上げるためにも、市民公募の委員さんが意見を言うことが大事である。

(教育長職務代理人)

備品も含んだ、30人用の利用パックなどがあれば、利用者は手続的にも楽になると思う。

(教育長)

ご意見として承る。

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆報告事項第3号「令和6年度第2回阪南市スポーツ推進審議会の会議録について」(生涯学習推進室)

(教育長)

報告事項第3号「令和6年度第2回阪南市スポーツ推進審議会の会議録について」生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

令和7年3月24日に開催した、令和6年度第2回阪南市スポーツ推進審議会について報告する。案件は、(1)指定管理者(阪南みらい共創パートナーズ)の報告について、(2)生涯スポーツ関連事業について、(3)阪南市青少年スポー

ツ奨励金交付状況等について、(4) その他、であった。

詳細は資料のとおりである。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆報告事項第4号「令和6年度第3回阪南市立図書館協議会の会議録について」 (生涯学習推進室)

(教育長)

報告事項第4号「令和6年度第3回阪南市立図書館協議会の会議録について」
生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

令和7年2月18日に開催した、令和6年度第3回図書館協議会について報告
する。案件は、(1) 令和6年度事業について、(2) 文化センター及び図書館の
一体的な管理運営状況について、(3) 令和7年度事業予定について、(4) その
他報告事項、であった。

詳細は資料のとおりである。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(柴崎委員)

会議録5ページに、「学校図書館司書の勤務日数が減った」とあるが、どのよ
うな状況か。

(両口学校教育課長代理)

令和6年度に微減となっている。週当たりの勤務日数が減った方が1名いる。
その他の学校図書館専任司書の勤務日数は変わっていないため、学校規模、児
童・生徒数により勤務日数の違いはあるが、全ての小中学校に配置できている。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆その他案件①「教育委員会関連行事について」(各担当課)

(教育長)

教育委員会に係る行事等について、その内容と主たる担当課を示している。
各課の報告を求める。

※詳細は資料のとおり

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆その他案件②「教育委員会関連行事等の報告について」(各担当課)

(教育長)

その他案件②「教育委員会関連行事等の報告について」について、各課の報告を求める。

まず、初めに5月25日に実施された「阪南市議会議員補欠選挙」について、生涯学習部理事の報告を求める。

(生涯学習部理事)

令和7年5月25日、阪南市議会議員補欠選挙が実施された。3名の議員枠に対し、9名の方が立候補し、無所属 岡やよい議員、大阪維新の会 杉本哲也議員と本郷真也議員が当選し、翌26日に当選証書を受け取った。

なお、投票者総数は13,456名で、投票率は31.53%であった。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、5月28日に開催された「租税教育推進協議会総会」について、生涯学習部長の報告を求める。

(生涯学習部長)

令和7年5月28日、泉南地区租税教育推進協議会定期総会が泉佐野税務署で開催された。本協議会は、教育関係者、税務関係者が協力し、租税教室の推進と租税教育の充実を図ることを目的に設立された団体となっている。事業内容としては、毎年度、租税教室の開催や税に関する習字の募集、作文の募集を行っており、定期総会では、令和6年度事業実績及び令和7年度事業計画などについて、事務局の泉佐野税務署から報告があり、承認された。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、5月30日に開催された「学校給食会理事会・総会」について、学校給

食センターの報告を求める。

(学校給食センター所長)

令和7年5月30日、学校給食会理事会・総会を開催した。

理事会は、小中学校長の代表、担当教諭、学校の医部会、歯科医部会、薬剤師部会の代表とPTA代表で構成されており、出席者は15名中8名であった。

総会は、各小中学校長、PTA代表で構成されており、出席者は27名中13名であった。

議案の内容については、学校給食会における前年度の事業報告、決算の承認、令和7年度事業計画及び予算案の報告を行い、いずれも議決された。

また、今年度から本格的に中学校給食を小学校給食と同様の食缶方式に統一したことに伴い、阪南市学校給食会規約及び専門委員会規則の改正についても、承認及び議決された。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、6月1日から実施されることになった「時差出勤の試行」について、教育総務課の報告を求める。

(教育総務課長)

令和7年6月1日から、時差出勤が試行実施されている。時差出勤実施の趣旨は、職員一人ひとりの状況に応じた多様な働き方とワークライフバランスを実現すること、そして、働きやすい職場環境づくりにより生産性と市民サービス向上を図ることである。対象者は、中学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員等で、勤務時間は4パターンとなっている。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、「阪南市議会6月定例会」について、生涯学習部副理事の報告を求める。

(生涯学習部副理事)

令和7年6月10日から令和7年第3回定例会が開催された。議員11名から一般質問があり、そのうち6名の議員の質問に対し、教育長と松下部長で答弁した。質問内容は、福田議員が「コミュニティスクールについて」、岩室議員が「教員の働き方改革について」、浅井議員が「阪南市立学校のあり方検討委員会について」、角野議員が「学校部活動の地域展開について」、二神議員が「安全教育について」、畑中議員が「英語教育について」であった。詳細は、市のウェブページから議会中継をご覧ください。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、「阪南市立公民館指定管理者の応募状況」について、生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

3公民館の指定管理者選定について、5月27日から6月12日までの間、指定管理者の募集を行った。延べ2団体から、3公民館にそれぞれ1つずつ応募があった。7月1日に提案説明会を開催することとしており、選定委員会で指定管理者が選定された場合は、次回定例教育委員会の協議事項とする予定である。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、6月15日に開催された「セブンの森の海活動との連携調印式」について、学校教育課の報告を求める。

(両口学校教育課長代理)

令和7年6月15日、西鳥取漁港にて、阪南市、一般財団法人セブンイレブン記念財団、特定非営利活動法人大阪湾沿岸域環境創造研究センターの3者において、新たに10年間の「森里川海の環境保全活動の実施に関する協定」を締結した。その後、セブンイレブンの職員とその家族、兵庫県伊丹市民、阪南市民の計約170人の参加者により、海岸清掃を行った後、生き物観察や地引網の体験を行った。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(水島委員)

伊丹市民の方が参加されている経緯は。

(生涯学習部長)

令和5年4月、民間企業のソーシャル・エックスと、兵庫県伊丹市、島根県飯南町、阪南市との4者で「脱炭素社会実現に向けた地域循環共生に関する連携協定」を締結し、官民共創による新たな価値を持ったカーボンクレジットの創出に取り組んでいる。阪南市で創出される「ブルーカーボンクレジット」を伊丹市庁舎から排出されるCO2量へオフセットする取組を行っている。また、公募した伊丹市民と伊丹市職員を合わせた23名の方に、「阪南セブンの海の森活動」と併せて、本市の地域特産品を購入していただくなど、地域活力の創出にも貢献している。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、6月16日に開催された「社会教育委員会議」について、生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

令和7年6月16日、令和7年度第1回阪南市社会教育委員会議を開催し、出席者は委員8名全員であった。案件は、(1)社会教育関係団体への補助金の交付について、(2)阪南市立公民館指定管理者募集について、(3)議長及び副議長の任期について、(4)その他、であった。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、令和7年6月16日に開催された「厚生文教常任委員会のうち、教育総務課案件」について、教育総務課の報告を求める。

(教育総務課長)

前回の定例教育委員会において、協議事項であった小中学校学習者用端末に係る財産の取得の議案について、本議会から厚生文教常任委員会に付託された。委員会では、質問もなく全議員一致で承認いただいた。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、「厚生文教常任委員会のうち、こども政策課案件」について、こども政策課の報告を求める。

(こども政策課長)

「第2次阪南市子育て拠点再構築方針(案)」について、令和7年6月5日、6日、公立幼稚園と公立保育所に勤務する全ての職員を対象とした職員説明会を開催し、2日間で職員57名の参加があった。現場の意見等を大事にしながら、再構築に取り組んでいく。

また、令和7年6月16日、市議会の厚生文教常任委員会が開催され、本件について説明を行った。委員からは、民間園になることによる地域との関わりの希薄化、再構築(案)の作成プロセス、保護者等説明会の開催に当たっての十分な意見交換等の要望などの質問や意見等があった。こうした意見等を踏まえながら、

必要な検討を進めていく。

なお、本件については、7月1日から31日までの間、パブリックコメントを実施する。並行して、7月12日、13日、17日及び19日に、保護者等説明会及び意見交換会を開催する。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、6月17日に開催された「戦没者追悼式」について、生涯学習部長の報告を求める。

(生涯学習部長)

令和7年6月17日、文化センター小ホールにて、阪南市戦没者追悼式（霊簿奉納の儀）が举行された。国歌斉唱に続き、上甲市長により、霊簿が奉納されたのち、戦没者560柱の御霊に対し、全員で黙とうを捧げた。市長より式辞があり、大阪府吉村知事の代理の方と阪南市議会中村議長より追悼の辞が述べられた。続いて、来賓の紹介、弔電の紹介があり、来賓の献花、遺族会の献花、主催者の献花と続き、最後にご遺族代表の挨拶があり、閉式した。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、6月26日に開催された「海洋教育推進協議会」について、学校教育課の報告を求める。

(両口学校教育課長代理)

令和7年6月26日、第1回海洋教育推進協議会を開催した。参加者は、大阪大谷大学教授の地下副会長をはじめ、学校における海洋教育の取組に深く関わっていただいているNPO法人の岩井専務理事、小学校の校長、市の関係部署の部長である。内容としては、本年度の委員の委嘱、令和6年度事業報告及び決算報告、令和7年度事業計画案と予算案について、事務局から提案を行い、承認いただいた。また、各校の年間指導計画をもとに、今年度の各校の活動予定について、校長先生や岩井専務理事、事務局より報告を行った。また、昨年度、地下教授のご指導のもと、推進協議会委員である校長先生方や各校の担当者からの意見を反映して完成させた「海洋教育効果検証アンケート」を、各校の6年生を対象に実施した。今後、詳細な分析を行い、海洋教育の成果を数値で確認していきたい。今年度でパイオニアスクールプログラムの助成が終了となる予定であるため、次年度の海洋教育の実施体制についても協議していくこととしている。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、6月1日に開催された「令和7年度阪南市スポーツ協会総会」について、生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

令和7年6月1日、令和7年度阪南市スポーツ協会総会が、委員全45名中42名が出席、(うち委任状12名)のもと、開催した。案件としては、令和6年度事業報告、令和6年度決算報告、令和7年度事業計画及び令和7年度予算(案)で、全ての案件について承認された。また、競技人口の減少によりイベント開催が困難になったことを理由として、陸上競技連盟からスポーツ協会に脱会の申し出があり、全会一致で同意された。さらに、本部役員の改選が行われ、秋山会長の勇退に伴い、新たな会長として西村吉弘氏が選出され、こちらも全会一致で同意された。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(水島委員)

阪南市民健康マラソンは、今後も継続するのか。

(生涯学習推進室長)

これまでの阪南市民健康マラソンは、スポーツ協会が主催となり、その運営に関しては、陸上連盟の役員をはじめ、スポーツ協会の役員にその運営を担っていた。陸上競技連盟は脱会となったが、健康マラソンについては、今年度以後も継続実施する予定で、スポーツ協会一丸となって取り組んでいくと聞き及んでいる。なお、マラソン種目については、今後、スポーツ協会内部で議論がなされると聞いている。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、市長と私に、文化関係の表敬訪問が2件あったので、私から報告させていただく。

1件目は、令和7年6月19日、本市の文化協会顧問で文化協会文芸部の常盤木慈友さんが、阪南市文化協会の向井会長とともに訪問された。常盤木さんは、この度、文化関係・文化芸術部門で、大阪府花道協会理事として「令和7年度憲法記念日知事表彰」を受けられた。

2件目は、文化協会文芸部所属の長浜真理さんが、阪南市文化協会の向井会長とともに訪問された。長浜さんは、愛媛県文化振興課が主催する「第11回愛顔

（えがお）感動ものがたり」のエピソードの部門「一般の部」で知事賞を受賞された。受賞作は「カモメ対メダカの午後」で、高齢になった母が同世代の「お向かいのおばちゃん」と頭の体操でしりとりを始め、「メダカ」「カモメ」の繰り返しで終わらないやり取りを振り返る内容となっている。

続いて、第33回阪南市長旗争奪大会の開会式について、私から報告させていただく。

令和7年6月22日、桑畑グラウンドにて、阪南市少年軟式野球協会主催の第33回阪南市長旗争奪大会の開会式が開催され、私と松下部長が参加した。大会は学童の部と4年生以下のジュニアの部、そして令和5年から始まった4年生以下の6人制ジュニアの部に分かれ、それぞれ優勝をめざし、約4か月間、熱戦が繰り広げられる。

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

（全委員）

質問等なし。

◆その他（教育長）

（教育長）

続いて、委員から何かないか。

（教育長職務代理者）

来年度から貝掛中学校の制服が変わると聞いている。現在、貝掛中学校の生徒は普段体操服で通学していると思うが、制服通学に戻すといった運用を考えているのか。

（両口学校教育課長代理）

制服の変更については、保護者にも周知を進めているところである。通学時は制服で登下校にする方向で考えていると聞いているが、その運用等については現在検討を進めているとのことである。運用等について決定次第、保護者、生徒へ説明を行っていく。

（教育長）

他に何かないか。

（教育長職務代理者）

仙台市の学校で、給食で提供された牛乳を飲んだ児童・生徒から、味の異変や体調不良を訴える声があがったというニュースがあった。阪南市において、牛乳などの保管場所や保管方法などは、どうなっているか。

（学校給食センター所長）

学校給食の牛乳については、当日の朝、乳業者から直接、各小中学校の配膳室へ配送し、保冷庫で保管している。午前10時以降、出勤した配膳員2名がいったん牛乳を取り出し、クラスごとに分配し、再び保冷庫に保管する。そして、給食開始の直前に教室の前まで配食している。なお、児童・生徒が喫食する30分

前に、給食センター所長及び各小中学校の管理職が牛乳も含め検食している。

(水島委員)

調理従事者の健康管理について、調理従事者本人がウイルス感染している場合は当然職場を離れていると思うが、本人は健康であるがその家族に症状がある場合はどのような対応となっているか。

(学校給食センター所長)

調理員、配膳員とも、家族に感染者が出たときも休暇を取るようになっている。調理員は、10月から3月までの間、ノロウィルスの検便検査をしている。

(教育長)

他に何かないか。

(辻委員)

ここ数日、名古屋の学校現場における盗撮事件が報道されているが、対応策はあるのか。

(生涯学習部理事)

教員の不祥事があった場合は、校長会や教頭会で毎回注意喚起している。しかしながら、今回の場合、報道によると、その教師は行事の記録係として児童の写真を撮っていたとされているので、現実的に防ぐのは難しいと言わざるを得ない。

(教育長)

他に何かないか。

(柴崎委員)

新規採用された教師の初任者研修の時期だと思うが状況はどうか。

(生涯学習部理事)

小中学校あわせて14名の方が初任者研修の対象となっている。現在、校長ヒアリングも半分程度終了したところである。本人たちは毎日を一生懸命過ごしていると思うが、皆元気に研修を受けている。非常に心配だというような話は入ってきていない。

(教育長)

他に何かないか。

(教育長職務代理者)

先日、ある学校の授業の様子を見ることがあったが、支援学級の児童たちも通常学級で授業を受けていて、教室が生徒でいっぱいになっていた。先生が大変そうに感じたが、先生のフォロー体制はどうなっているか。

(生涯学習部理事)

支援学級の児童たちが通常学級に戻ってくることによって、教室が35人以上となり、教室がいっぱいになる場所も確かにある。先生の支えになっていたという支援員や補助の教員によって、できる限りフォローしているところであるが、財政的な課題、また人材が不足しているという課題もあり、十分と言える状況でないかもしれない。保護者対応など、教員に要求されているレベルも高くなっており、疲弊している状況も見受けられる。法整備などが進み、フォロー体

制を取ることができればと考える。

(両口学校教育課長代理)

新任教員、ベテラン教員にかかわらず、疲弊していてもなかなか自分からヘルプを言い出せない教員がいる。そのため、スクールカウンセラーに対しては、児童・生徒だけではなく、教員もフォローしてもらいたいと伝えており、職員室で滞在する時間を確保してもらっている。月2回スクールカウンセラーが訪問する学校では、次の訪問まで2週間という間隔があることによって、教員の様子が変わったことに気付きやすい。気になる教員がいれば、スクールカウンセラーに積極的に声掛けをしてもらったりしている。また、その場合は、校長先生と情報共有した上で、複数人でフォロー対応することとしている。

(柴崎委員)

単学級が増えていることによって、同じ学年を教えている教員がおらず、相談しにくい環境になっているかもしれない。

(教育長)

他に何かないか。

最後に、サラダホール能舞台の大屋根修繕に係るガバメントクラウドファンディングについて、生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

毎年「皿田能」でサラダホールの能舞台を使用しているが、長年の使用により老朽化が進み、特に大屋根部分の早急な修繕が必要な状況である。今年1月の公演については、安全を考慮し、大屋根がない状態での開催となった。この修繕費用を募るため、本市では能舞台及び関連設備の修繕を目的とした、ガバメントクラウドファンディングのプロジェクトを立ち上げた。寄附募集期間は、6月2日から8月30日までの90日間で、目標金額は100万円である。現時点で、26人の方から37万6千円のご寄附をいただいている。教育委員の皆様には、SNS、ご友人・知人へのシェア、口コミなど、本プロジェクトの周知にご協力いただきたい。なお、本プロジェクトは「ふるさと納税」の対象となっており、返礼品を受け取ることができる。

(辻委員)

ここまで立派な能舞台を所有しているホールは、日本でここだけである。大屋根があることによって、演目の幅が広がる。大屋根は、市が所有していることから、市のプロジェクトとしてガバメントクラウドファンディングしていただく。

実行委員会としては、今後も事業継続していかないといけないというプレッシャーもあるところであるが、ふるさと納税制度活用という後押しもあったことから、取組を進めたところである。

(教育長)

他に何かないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次回の令和7年第7回定例教育委員会は、令和7年7月25日金曜日午前10時から阪南市防災コミュニティセンター1階研修室で開催したいが、いかがか。

(全員)

異議なし。

(教育長)

令和7年第6回定例教育委員会を閉会する。

以上